



2024年5月1日発行

安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : KT-79 ナチュラルシルバーF、8KKP02PW

供給者の会社名称 : 株式会社 LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号

電話番号 : 0120-126-001

項目2以降は、2頁以降を参照

作成日：2024年03月27日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：エイト KT79プラチナホワイト指定艶

SDS No.OTC48_1399_240327_J-1

製品コード：OTC48-1399

製品種類：

アクリルラッカー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：金属一般用

使用上の制限：推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：ナトコ株式会社

住所：〒470-0213 愛知県みよし市打越町生賀山18

担当部署：技術管理部 品質管理グループ

電話番号：0561-32-2285

FAX：0561-32-9506

e-mail address：hinpo@natoco.co.jp

緊急連絡先電話：0561-32-9629

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(吸入)：区分 4

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

発がん性：区分 1B

生殖毒性：区分 1

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響：追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- H225 引火性の高い液体及び蒸気
- H332 吸入すると有害
- H315 皮膚刺激
- H318 重篤な眼の損傷
- H350 発がんのおそれ
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- H370 臓器の障害
- H371 臓器の障害のおそれ
- H335 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 眠気又はめまいのおそれ
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
- H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- H401 水生生物に毒性
- H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地しアースをすること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P280 指定された個人用保護具を使用すること。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P370 + P378 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- P321 特別な処置が必要である。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P310 直ちに医師に連絡すること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用し

ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

貯蔵

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
酢酸エチル	141-78-6	15 - 20	2-726
メチルイソブチルケトン	108-10-1	5 - 10	2-542
酢酸n-ブチル	123-86-4	5 - 10	2-731
ニトロセルロース	9004-70-0	5 - 10	8-176
キシレン	1330-20-7	5 - 10	3-3; 3-60
エチルベンゼン	100-41-4	5 - 10	3-28; 3-60
酢酸イソブチル	110-19-0	1 - 5	2-731
イソプロピルアルコール	67-63-0	1 - 5	2-207
アルミニウム粉末	7429-90-5	1 - 5	-
トルエン	108-88-3	1 - 5	3-60; 3-2
シリカ (非晶質二酸化ケイ素)	7631-86-9	1 - 5	1-548
イソブタノール	78-83-1	1 - 5	2-3049
1-ブタノール	71-36-3	1 - 5	2-3049
2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル)	111-76-2	1 - 5	7-97; 2-407; 2-2424
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7	1 - 5	3-1307
中沸点脂肪酸ナフサ	64742-88-7	0.1 - 1	9-1698; 9-1700
トリメチルベンゼン	25551-13-7	0.1 - 1	3-7; 3-3427
1,2,4-トリメチルベンゼン	95-63-6	0.1 - 1	3-7; 3-3427
C.I. ピグメントイエロー 42	51274-00-1	0.1 - 1	-
低沸点芳香族ソルベントナフサ	64742-95-6	0.1 - 1	9-1691; 9-1698; 9-1700; 9-2578

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酢酸エチル , メチルイソブチルケトン , 酢酸n-ブチル , ニトロセルロース , キシレン , エチルベンゼン , 酢酸イソブチル , イソプロピルアルコール , アルミニウム粉末 , トルエン , イソブタノール , 1-ブタノール , 2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル) , フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酢酸エチル , メチルイソブチルケトン , 酢酸n-ブチル , ニトロセルロース , キシレン , エチルベンゼン , 酢酸イソブチル , イソプロピルアルコール , アルミニウム粉末 , トルエン , イソブタノール , 1-ブタノール , 2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブ

チルエーテル), フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
化管法「第1種指定化学物質」該当成分
メチルイソブチルケトン, キシレン, エチルベンゼン, トルエン, 2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル), フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。

医師の手当、診断を受けること。

被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

水(棒状水、高圧水)

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

適切な保護具を着用する。

密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水溝に流れ込むと火災・爆発の危険性がある。

屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発を起こす危険がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

子供の手の届かないところに保管すること。

日光の直射を避ける。通風のよいところに保管すること。

漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。

高温多湿を避けて保管すること。
安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(酢酸エチル)

作業環境評価基準 200ppm

(メチルイソブチルケトン)

作業環境評価基準 20ppm

(酢酸n-ブチル)

作業環境評価基準 150ppm

(キシレン)

作業環境評価基準 50ppm

(エチルベンゼン)

作業環境評価基準 20ppm

(酢酸イソブチル)

作業環境評価基準 150ppm

(イソプロピルアルコール)

作業環境評価基準 200ppm

(トルエン)

作業環境評価基準 20ppm

(イソブタノール)

作業環境評価基準 50ppm

(1-ブタノール)

作業環境評価基準 25ppm

(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

作業環境評価基準 25ppm

許容濃度

(酢酸エチル)

日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m³

(メチルイソブチルケトン)

日本産衛学会(1984) 50ppm; 200mg/m³

(酢酸n-ブチル)

日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m³

(キシレン)

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(エチルベンゼン)

日本産衛学会(2020) 20ppm; 87mg/m³ (皮)

(イソプロピルアルコール)

日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 400ppm; 980mg/m³

(アルミニウム粉末)

日本産衛学会(第1種粉塵) (吸入性粉塵) 0.5mg/m³; (総粉塵) 2mg/m³

(トルエン)

日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m³ (皮)

(イソブタノール)

日本産衛学会(1987) 50ppm; 150mg/m³

(1-ブタノール)

日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 50ppm; 150mg/m³ (皮)

- (2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))
 日本産衛学会(2017) (最大許容濃度) 20ppm; 97mg/m³ (皮)
 (フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
 日本産衛学会(1995) 5mg/m³
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)
 日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m³
 (酢酸エチル)
 ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道及び眼刺激)
 (メチルイソブチルケトン)
 ACGIH(2010) TWA: 20ppm;
 STEL: 75ppm (上気道刺激; めまい; 頭痛)
 (酢酸n-ブチル)
 ACGIH(2016) TWA: 50ppm;
 STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)
 (キシレン)
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)
 (エチルベンゼン)
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)
 (酢酸イソブチル)
 ACGIH(2016) TWA: 50ppm;
 STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)
 (イソプロピルアルコール)
 ACGIH(2001) TWA: 200ppm;
 STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)
 (アルミニウム粉末)
 ACGIH(2008) TWA: 1mg/m³(R) (じん肺症、下気道刺激、神経毒性)
 (トルエン)
 ACGIH(2020) TWA: 20ppm (中枢神経系、視覚及び聴覚障害; 女性生殖系影響; 妊娠損失)
 (イソブタノール)
 ACGIH(2002) TWA: 50ppm (皮膚及び眼刺激)
 (1-ブタノール)
 ACGIH(2001) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激)
 (2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))
 ACGIH(2003) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激)
 (フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
 ACGIH(2022) TWA: 0.1mg/m³ (男性生殖系損傷; 催奇形性影響)
 (トリメチルベンゼン)
 ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)
 ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)
- [ACGIH] 特記事項
 (キシレン)
 聴力障害
 (エチルベンゼン)
 聴力障害
 (トルエン)
 聴力障害
 (フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
 皮膚吸収
- ばく露防止

設備対策

引火点が40°C以下の製品は、アース設置を含む防爆型の設備を使用すること。

引火点が40°Cを超える製品の場合、引火点を超える取扱いにおいては、アース設置を含む防爆型の設備を使用すること。

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスクを着用すること。密閉された場所では送気マスクを着用すること。

手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

眼の保護具

取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

静電塗装作業を行う場合には、帯電防止服、静電靴を着用すること。

取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：指定色

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：77.2°C

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：1vol %

爆発上限：15vol %

引火点：7°C

自然発火点：367°C

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度(比重):0.9~1.4

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし
化学的安定性
化学的安定性データなし
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
避けるべき条件データなし
混触危険物質
混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物
燃焼によりCO、NOxなどが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

rat LD50=5600mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(メチルイソブチルケトン)

rat LD50=2080mg/kg (ACGIH, 2010)

(キシレン)

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500-4700mg/kg (AICIS IMAP, 2020)

(イソプロピルアルコール)

rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)

(イソブタノール)

rat LD50=2460mg/kg (日本産衛学会許容濃度の提案理由書, 1987; EHC 65, 1987; SIDS, 2005; PA TTY, 6th, 2012)

(1-ブタノール)

rat LD50=2510mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

rat LD50=470mg/kg, 917mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

female rat LD50=3280mg/kg (REACH登録情報, Accessed Aug. 2021)

急性毒性(経皮)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

rabbit LD50 > 18000mg/kg (SIDS, 2008)

(キシレン)

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(エチルベンゼン)

rabbit LD50=15400mg/kg (ACGIH, 2011)
(イソプロピルアルコール)
rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)
(イソブタノール)
rabbit LD50=2460mg/kg(雌) (SIDS, 2005); rabbit LD50=3400mg/kg (SIDS, 2005; PATTY, 6th, 2
012); rabbit LD50=4240mg/kg (EHC 65, 1987; SIDS, 2005)
(1-ブタノール)
rabbit LD50=3402mg/kg (SIDS, 2005)
(2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))
rabbit LD50=220mg/kg (ATSDR, 1998)

急性毒性(吸入)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

vapor: rat LC50=14640ppm/4hr (DFGOT vol.12, 1999)

(メチルイソブチルケトン)

vapor: rat LC50=8.2mg/L/4hr (NTP TR 538, 2007)

(キシレン)

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由書, 2020)

mist: rat LC50=55mg/L/2hr (換算値: 27.5mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2015)

(酢酸イソブチル)

vapor: rat LC(4-death/6-samples)=8000ppm (DFGOT vol.19, 2003)

(トルエン)

vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.

(イソブタノール)

vapor: rat LC50=6336ppm/4hr (EHC 65, 1987; SIDS, 2005); rat LC50=8000ppm/4hr (産衛学会許
容濃度の提案理由書, 1987)

(2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

vapor: rat LC50=450ppm/4hr (SIDS, 2007)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

mist: rat LC50=18000mg/m³/4hr (18mg/L/4hr) (MOE 初期評価, 2009)

労働基準法: 疾病化学物質

酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; キシレン; トルエン; 金属ヒュームとして (アルミニウム粉末)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

(トルエン)

ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

(イソブタノール)

ヒト 軽度の発赤 (ACGIH 7th, 2001 et al)

(1-ブタノール)

ラビット 中等度の刺激性 (DFGOT vol.19, 2003)
(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))
ラビット 刺激性 (SIDS, 2006)
(トリメチルベンゼン)
動物 一次刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
皮膚刺激性(MOE 初期評価, 2009)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

ラビット 一過性の刺激性, 7日までに全ての反応は消失 (ECETOC TR48, 1998)

(メチルイソブチルケトン)

ラビット 7日以内に回復した (ECETOC TR48, 1992)

(酢酸n-ブチル)

ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)

(キシレン)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激(NITE初期リスク評価書, 2007 et al)

(酢酸イソブチル)

ラビット わずかな刺激性 (SIDS, 2009)

(イソプロピルアルコール)

ラビット (PATTY 6th, 2012 et al)

(トルエン)

ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

(イソブタノール)

ヒト 角膜の変化 (DFGOT vol.19, 2003)

(1-ブタノール)

ヒト 眼刺激性 (PATTY 6th, 2012)

(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

ラビット (OECD TG405, GLP) 21日後に回復 (ECETOC TR95, 2005)

(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

ラビット 軽度の結膜発赤 (EU-RAR, 2003)

(トリメチルベンゼン)

眼刺激性 (HSDB, 2014)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

眼刺激性(MOE 初期評価, 2009)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]
トルエン

発がん性
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(メチルイソブチルケトン)
cat.1B; (IARC 101, 2012)
(エチルベンゼン)
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000)
(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2013)
[IARC]
(メチルイソブチルケトン)
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(キシレン)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(エチルベンゼン)
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(イソプロピルアルコール)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(トルエン)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(シリカ (非晶質二酸化ケイ素))
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
[ACGIH]
(メチルイソブチルケトン)
A3(2010) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(キシレン)
A4(2021) : ヒト発がん性因子として分類できない
(エチルベンゼン)
A3(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(イソプロピルアルコール)
A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない
(アルミニウム粉末)
A4(2008) : ヒト発がん性因子として分類できない
(トルエン)
A4(2020) : ヒト発がん性因子として分類できない

(2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

A3(2003): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

A3(2022): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(1,2,4-トリメチルベンゼン)

A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(メチルイソブチルケトン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
(エチルベンゼン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
[EU]

(メチルイソブチルケトン)

Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

(低沸点芳香族ソルベントナフサ)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

cat. 1B; ATSDR, 2007

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2021; ACGIH 7th, 2011 et al.

(イソプロピルアルコール)

cat. 2; PATTY 6th, 2012

(トルエン)

cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006

cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012

(2-プトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

cat. 2; rat : SIDS, 2006

(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

cat. 1B; EU-RAR, 2008

cat. add; EU-RAR, 2008

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

(イソプロピルアルコール)

中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

(アルミニウム粉末)

呼吸器 (ACGIH 7th, 2008)
(トルエン)
中枢神経系 (IARC 47, 1989; IRIS tox. Review, 2005)
(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))
血液系、肝臓、呼吸器、腎臓 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]
(酢酸エチル)
気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001; 環境省リスク評価第10巻, 2012)
(メチルイソブチルケトン)
気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
(酢酸n-ブチル)
気道刺激性 (CICAD 64 2005)
(エチルベンゼン)
気道刺激性 (ACGIH, 2011; AICIS IMAP, 2020)
(酢酸イソブチル)
気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
(イソプロピルアルコール)
気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)
(トルエン)
気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)
(イソブタノール)
気道刺激性 (EHC 65, 1987; DFGOT vol. 19, 2003)
(1-ブタノール)
気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
気道刺激性 (HSDB, 2014)
(トリメチルベンゼン)
気道刺激性 (HSDB, 2014)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
気道刺激性 (ACGIH, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]
(酢酸エチル)
麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001; SIDS, 2008)
(メチルイソブチルケトン)
麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)
(酢酸n-ブチル)
麻酔作用 (CICAD 64 2005)
(ニトロセルロース)
麻酔作用 (HSDB, 2003)
(キシレン)
麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)
(エチルベンゼン)
麻酔作用 (ACGIH, 2011)
(酢酸イソブチル)
麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)
(トルエン)
麻酔作用 (EHC 52, 1985; IARC 47, 1989)
(イソブタノール)

麻酔作用 (SIDS, 2005; SIDS Dossier, 2005)

(1-ブタノール)

麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)

(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

麻酔作用 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)

(トリメチルベンゼン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

麻酔作用 (US AEGL, 2012 et al.)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メチルイソブチルケトン)

中枢神経系 (ACGIH 7th, 2010)

(キシレン)

神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

聴覚器、神経系 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2020)

(イソプロピルアルコール)

血液系 (EHC 103, 1990)

(アルミニウム粉末)

呼吸器 (ACGIH 7th, 2008)

(トルエン)

中枢神経系、腎臓 (産業医学 36巻, 1994)

(1-ブタノール)

聴覚器、中枢神経系 (環境省リスク評価第4巻, 2005)

(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

血液系 (SIDS, 2007; CICAD 67, 2010)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

脾臓、肝臓、呼吸器 (EHC 103, 1990)

(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

精巣、肝臓 (ATSDR, 2002; EU-RAR, 2008)

誤えん有害性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm²/s (25°C) (HSDB, 2014)

(エチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.63 mm²/s (40°C) (CLH Report, 2010)

(トルエン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm²/s (40°C) (計算値) (粘性率 : 0.727 mPa
*s (Renzo,1986), 密度 : 0.8483 g/mL (CRC 91st, 2010))

(トリメチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity < 8.9 mm²/s (1,3,5-trimethylbenzene)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.843 mm²/s (20°C), 0.630 mm²/s (50°C) (本物質の異性体である1,3,5-トリメチルベンゼン) (GESTIS, 2021)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

甲殻類 (ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=230mg/L/96hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)

(メチルイソブチルケトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=505mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)

(酢酸n-ブチル)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

(ニトロセルロース)

藻類 (セレナストラム) EC50=579mg/L/96hr (Aquire, 2003)

(キシレン)

魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ベイシユリンブ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)

(酢酸イソブチル)

魚類 (メダカ) LC50=17mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1999)

(イソプロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

(イソブタノール)

甲殻類 (アメリカザリガニ) LC50=949mg/L/96hr, 魚類 (ニジマス) LC50=1330mg/L/96hr, 藻類 (Desmodesmus subspicatus) EC50 (速度法)=2300mg/L/48hr (環境省環境リスク評価第11巻, 2013)

(1-ブタノール)

魚類 (メダカ) LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1996)

(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

魚類 (シープスヘッドミノー) LC50=116mg/L/96hr (環境省リスク評価第6巻, 2008、他)

(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.133mg/L/48hr (環境省リスク評価第1巻, 2002)

(トリメチルベンゼン)

甲殻類 (グラスシユリンブ) LC50=5.4mg/L/96hr (Aquire, 2003)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=7.72mg/L/96hr (優先評価化学物質のリスク評価, 2015)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)
(メチルイソブチルケトン)
魚類 (ファットヘッドミノー) NOEC=57mg/L/31days (環境省リスク評価第6巻, 2008)
(エチルベンゼン)
甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)
(酢酸イソブチル)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=23mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1999)
(イソプロピルアルコール)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)
(トルエン)
甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006)
(イソブタノール)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=4.0mg/L/21days (環境省環境リスク評価第11巻, 2013;
ECETOC TR91, 2003); 藻類 (Desmodesmus subspicatus) EC10 (速度法)=900mg/L/48hr (環境省環
境リスク評価, 第11巻, 2013)
(1-ブタノール)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=4.1mg/L/21days (環境省リスク評価, 2005)
(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=0.077mg/L/21days (環境省リスク評価第1巻, 2002)

水溶解度

(酢酸エチル)
8 g/100 ml (PHYSROP_DB, 2009)
(メチルイソブチルケトン)
1.91g/100 ml (20°C) (ICSC, 1997)
(酢酸n-ブチル)
0.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)
(ニトロセルロース)
100 g/100 ml (PHYSROP_DB, 2009)
(エチルベンゼン)
0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)
(酢酸イソブチル)
0.67 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)
(イソプロピルアルコール)
In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)
(アルミニウム粉末)
溶けない、反応する (ICSC, 2000)
(トルエン)
溶けない (ICSC, 2002)
(イソブタノール)
8.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2005)
(1-ブタノール)
6.32 g/100 ml (25°C) (HSDB, 2013)
(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))
混和する (ICSC, 2003)
(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))
0.000003 g/100 ml (EU-RAR, 2001)
(中沸点脂肪族ナフサ)
溶けない (ICSC, 2001)
(トリメチルベンゼン)
非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

残留性・分解性

[成分データ]

(酢酸エチル)

急速分解性あり (BOD分解度: 66, 112, 105%/28day (通産省公報, 1993))

(メチルイソブチルケトン)

急速分解性あり (BOD分解度=84%/14 days; TOC分解度=97.1%/14 days; GC分解度=100%/14 days (通産省公報, 1975))

(酢酸n-ブチル)

急速分解性あり (BODによる分解度: 98%, SIDS, 2009)

(キシレン)

急速分解性なし (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(エチルベンゼン)

急速分解性なし (良分解性; 標準法におけるBODによる分解度 : 0% (通産省公報, 1990))

(酢酸イソブチル)

急速分解性あり (20日後のBODによる分解度: 79-81% (SIDS, 2009))

(イソプロピルアルコール)

急速分解性あり (BODによる分解度: 86% (既存点検, 1993))

(トルエン)

BODによる分解度: 123% (既存点検)

(イソブタノール)

急速分解性あり (BODによる分解度 : 90% (化審法DB, 1976))

(1-ブタノール)

急速分解性あり (BOD₂₀: 92% (SIDS, 2005))

(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

BODによる分解度: 96% (既存点検)

(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

急速分解性あり (28日後のBOD分解度 = 69% (既存点検, 1975))

(トリメチルベンゼン)

1,3,5-トリメチルベンゼン_BODによる分解度: 0% (既存点検)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

急速分解性なし (BODによる28日間分解度 : 平均8.7% (METI既存点検結果, 1980))

生体蓄積性

[成分データ]

(酢酸エチル)

log Pow=0.73 (ICSC, 2014)

(メチルイソブチルケトン)

log Pow=1.38 (ICSC, 1997)

(酢酸n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

(キシレン)

log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)

(酢酸イソブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

(トルエン)

log Kow=2.73 (PHYSPROP DB, 2008)

(イソブタノール)

log Kow=0.76 (SRC PHYSPROP DB, 2017)

(1-ブタノール)

log Pow=0.9 (ICSC, 2005)

(2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル))

log Pow=0.83 (PHYSPROP DB, 2005)

(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))

log Pow=5.03 (ICSC, 2001) ; BCF=840(EU-RAR, 2001)

(トリメチルベンゼン)

log Pow=3.4 through 3.8 (ICSC, 2002); BCF=328 (1,3,5-トリメチルベンゼン: 既存化学物質安全性点検データ)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.8 (ICSC, 2002)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料 (ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、ポリッシュ、液体フィル
ー、液体ラッカー系を含む) 又は塗料関連材料 (ペイント希釈剤又は還元化合物を含む)

分類または区分 : 3

容器等級 : II

指針番号: 128

特別規定番号 : 163; 367

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料 (ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、ポリッシュ、液体フィル
ー、液体ラッカー系を含む) 又は塗料関連材料 (ペイント希釈剤又は還元化合物を含む)

分類または区分 : 3

容器等級 : II

特別規定番号 : 163; 367

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料 (ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、ポリッシュ、液体フィル
ー、液体ラッカー系を含む) 又は塗料関連材料 (ペイント希釈剤又は還元化合物を含む)

分類または区分 : 3
危険性ラベル : Flamm.liquid
容器等級 : II
特別規定番号 : A3; A72; A192

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(X類)

トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン

有害液体物質(Y類)

1-ブタノール; イソブタノール; エチルベンゼン; 2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル); キシレン; 酢酸n-ブチル; 酢酸イソブチル; トルエン; フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

有害液体物質(Z類)

イソプロピルアルコール; 酢酸エチル; 1-ブタノール; イソブタノール; メチルイソブチルケトン

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

メチルイソブチルケトン

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

キシレン; エチルベンゼン; トルエン; フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

メチルイソブチルケトン; キシレン; エチルベンゼン; イソプロピルアルコール; アルミニウム粉末; トルエン; 1-ブタノール; 2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル)

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

エチルベンゼン; フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

キシレン; エチルベンゼン; フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

メチルイソブチルケトン; エチルベンゼン

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; キシレン; 酢酸イソブチル; イソプロピルアルコール; トルエン; イソブタノール; 1-ブタノール; 2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル); 中沸点脂肪族ナフサ; 低沸点芳香族ソルベントナフサ

粉じん障害防止規則(令19号)

アルミニウム粉末; シリカ(非晶質二酸化ケイ素)

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

酢酸エチル(別表第9の177); メチルイソブチルケトン(別表第9の569); 酢酸n-ブチル(別表第9の181); ニトロセルロース(別表第9の424); キシレン(別表第9の136); エチルベンゼン(別表第9の70); 酢酸イソブチル(別表第9の181); イソプロピルアルコール(別表第9の494); アルミニウム粉末(別表第9の37); トルエン(別表第9の407); イソブタノール(別表第9の477); 1-ブタノール(別表第9の477); 2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル)(別表第9の79); フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(別表第9の481)

名称通知危険/有害物

酢酸エチル(別表第9の177); メチルイソブチルケトン(別表第9の569); 酢酸n-ブチル(別表第9の181); ニトロセルロース(別表第9の424); キシレン(別表第9の136); エチルベンゼン(別表第9の70); 酢酸イソブチル(別表第9の181); イソプロピルアルコール(別表第9の494); アルミニウム粉末(別表第9の37); トルエン(別表第9の407); イソブタノール(別表第9の477); 1-ブタノール(別表第9の477); 2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル)(別表第9の79); フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(別表第9の481)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

健康障害防止指針公表物質 (法第28条第3項)

メチルイソブチルケトン; エチルベンゼン

皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)

キシレン; トルエン; イソブタノール; 1-ブタノール; 2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル); フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

トルエン(2.5%);
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(1.8%);
エチルベンゼン(5.3%);
エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル(別名ブチルセロソルブ)(1.8%);
メチルイソブチルケトン(8.7%);
キシレン(5.3%)

消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

化審法

優先評価化学物質

トルエン(通し番号46 人健康影響/生態影響); 1,2,4-トリメチルベンゼン(通し番号49 人健康影響/生態影響); トリメチルベンゼン(通し番号49 人健康影響/生態影響); エチルベンゼン(通し番号50 人健康影響/生態影響); フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(通し番号66 人健康影響/生態影響); イソプロピルアルコール(通し番号102 人健康影響); 2-ブトキシエタノール(エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル)(通し番号109 人健康影響); メチルイソブチルケトン(通し番号116 人健康影響); 1-ブタノール(通し番号124 人健康影響); キシレン(通し番号125 人健康影響); トリメチルベンゼン(通し番号201 人健康影響)

じん肺法

アルミニウム粉末; シリカ (非晶質二酸化ケイ素)

悪臭防止法

酢酸エチル

政令番号14: 敷地境界線許容限度 3 - 20 ppm

メチルイソブチルケトン

政令番号15: 敷地境界線許容限度 1 - 6 ppm

キシレン

政令番号18: 敷地境界線許容限度 1 - 5 ppm

トルエン

政令番号16:敷地境界線許容限度 10 - 60 ppm

イソブタノール

政令番号13:敷地境界線許容限度 0.9 - 20 ppm

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

キシレン(中環審第9次答申の43)

エチルベンゼン(中環審第9次答申の24)

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(中環審第9次答申の188)

有害大気汚染物質/優先取組

トルエン(中環審第9次答申の141)

水質汚濁防止法

指定物質

酢酸エチル

法令番号 13

キシレン

法令番号 28

アルミニウム粉末

法令番号 44

トルエン

法令番号 25

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

法令番号 40

C.I. ピグメントイエロー 42

法令番号 52

適用法規情報

「がん原性がある物(規則第577条の2第5項)」「皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)」の項目が記載されない場合は、それぞれの規則には該当しない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

JIS Z7253 では「濃度又は濃度範囲を記載」することとなり、重量パーセントの記載が原則となりますが、製品の特性上、含有量に幅が生じる場合、または「成分及び含有量」が営業上の秘密に該当する場合については、濃度範囲による記載をしております。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度(2022年度))です。